

PCI 3DS オンサイト評価のご紹介

3DS (3D Secure) とは？

3DS は 3D Secure を略したものであり、クレジットカードによるオンラインの決済時に、**事前にカード会社に登録した本人のみが知っている情報（パスワード等）を入力する本人認証手法**です。これによりクレジットカード情報のみでの決済ができなくなり、不正取引のリスクを格段に下げることが可能となります。

強力な本人認証手段として、3D セキュアの注目度は年々高まっています。例えば**クレジット取引セキュリティ対策協議会が策定する「実行計画」及び「クレジットカード・セキュリティガイドライン」**には、カード取引の不正防止対策の一つとして 3D セキュアが盛り込まれています。また、VISA や MasterCard が中心となり、**世界的にもイシュア・サービスプロバイダに対する 3D セキュアの導入義務付けが進められています**。日本国内はまだ対応が追い付いていないというのが現状ですが、今後 3D セキュアへのニーズの高まりは加速していくことが予想されています。

PCI 3DS の対象について

PCI 3DS への準拠は、**3D セキュアサービスを提供しているサービスプロバイダ**が対象となります。加盟店やその他のサービスプロバイダが認証を受ける必要はありません。

BBSec は国内でも数少ない PCI 3DS 認定評価機関として、**3DS QSA によるオンサイト評価**を実施致します。

PCI 3DS 準拠のメリット

上述の通り、3D セキュア導入の流れはグローバルで加速しており、その影響は日本にも及んできています。

国際カードブランドを中心に、**不正なカード取引における債務責任をアクワイアラ（加盟店契約会社）に課すライアビリティシフト**の動きも推し進められており、自社のリスクを低減するためにも 3D セキュアの導入は当たり前のものとなっていくでしょう。

カード会社や決済代行業者が自社で 3D セキュアの仕組みを構築することは非常に難しく、必然的に PCI 3DS 認証を取得した 3D セキュアサービスプロバイダへのニーズが高まることが予想されます。

PCI 3DS オンサイト評価の概要

- 準拠基準
Payment Card Industry 3DS Core Security Standard Ver1.0
- 評価対象
3DS サービス
- 評価項目
全 14 項目 (Part1 / 7 項目 + Part2 / 7 項目)
※PCI DSS に準拠している場合、Part1 は免除される場合がある。
- 評価手法
①インタビュー ②現地視察 ③システム・機器などの実機確認
④文書・記録類の確認 ⑤準拠レポート作成
※適宜サンプリングを実施する。
- 準拠認定証明
準拠認定証明書発行、準拠認定証明ロゴマークの使用許諾

■ まずは御相談ください。お問合せはこちら。



03-6433-3116 (受付時間 平日9:30~17:00)
mailto:Consulting-Sales@bbsec.co.jp



株式会社ブロードバンドセキュリティ



■ 本 社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-5-1 野村不動産西新宿共同ビル4F TEL:03-5338-7425 FAX:03-5338-7427
URL : <http://www.BBSec.co.jp/>